

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	(仮称) 総合あんしんセンター整備事業		部課コード	1108	予算事業科目	010401010291	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	健康福祉部	部局長名(2次評価者)	明神公平		個別事務	全部	010401010291	-	
	担当部署	総合あんしんセンター建設課	所属長名(1次評価者)	門吉直人			-			
	電話番号	088-822-1267	E-mail	kc-110800@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	02 Bいきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	すべての市民が、それぞれのライフステージに応じて、健康で文化的な生活を享受できる社会を実現するために、保健・医療・福祉の総合的な基盤整備に努めます。
款	04 衛生費	政策	08 保健・医療・福祉の総合基盤づくり		
項	01 保健衛生費	施策	01 保健・医療・福祉総合ネットワークづくり		
目	01 保健衛生総務費	区分	01 施設整備等		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	平成19年12月市議会定例会における補正予算議案の承認	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	医師会等関係団体、補償コンサルタント業者、建設業者等		
意図	どのような状態にしていけるのか	平成22年4月の(仮称)総合あんしんセンターのオープンに向けた建設工事の実施、管理規約の策定		
手段	事業実施体制等	業務委託により新施設建設工事、監理、周辺家屋調査等を行う。また関係団体との協議を継続する。	事業開始年度	平成19年度
			事業終了年度	平成21年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	「保健・医療・福祉・防災」ニーズに迅速・的確に対応するため、保健所、消防局及び災害対策本部機能を併せ持ち、医師会等関係団体の施設も含めた総合的な拠点施設として(仮称)総合あんしんセンターを整備する。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	工事進捗率	各工事における予定出来高に対する実施出来高の割合	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	工事進捗率	目標	5%	49%	100%	建設工事の本契約日 平成20年3月25日 建設工事の工期 平成20年3月26日から 平成22年2月28日まで	
		実績		0%	22%			
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	26,797	262,146	832,232	3,566,568	20年度→21年度繰越予算896,168千円を含む 主な内容 平成18年度 解体前調査 平成19年度 旧病院解体 新施設設計 平成20年度 新施設建設 平成21年度 //	
		財源内訳	国費 (千円)	9,040	88,080	55,808		
			県費 (千円)					
			市債 (千円)	12,400	163,400	544,700		
			その他 (千円)			203,005		
			一般財源 (千円)	5,357	10,666	28,719		
	翌年度への繰越額 (千円)	3,108	157,000	896,168				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	16,875	22,500	22,500			
		正規職員 (千円)	16,875	22,500	22,500			
			その他 (千円)					
			人役数 (人)	2.25	3.00	3.00		
		正規職員 (人)	2.25	3.00	3.00			
			その他 (人)					
	総コスト=①+② (千円)		43,672	284,646	854,732			
市民1人当たりコスト (円)		133	833	2,509				
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 10 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	<p>本事業は「保健・医療・福祉・防災」の総合的な拠点施設を建設するものであり、本市総合計画に掲げる「保健・医療・福祉の総合基盤づくり」の趣旨に合致している。</p> <p>（仮称）総合あんしんセンター構想の前身である（仮称）健康あんしんセンター構想は「高知市中心部での公的医療施設整備に関する基本条例制定直接請求」を受けたものであり、市民意識調査においてもその重要性は高いとされている。</p>
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	<p>工事の一時中断の影響により工期を延長したが供用開始時期には影響ないため、成果指標は概ね達成できていると考える。</p> <p>管理規約については委託により専門家の意見も取り入れており、手法・活動内容としては妥当と考えている。</p>
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	<p>各工事、監理等については業務委託をしている。また、家屋調査についても委託を予定している。</p> <p>これまででもコスト削減を意識した設計を行ってきたが、今後も見直しの余地がないか検討していく。</p>
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	<p>保健・医療・福祉面においては、施設の分散の解消による利便性の向上、医師会等関係団体との連携による救急医療等の充実が図られる。消防・防災面においては、災害対策本部と消防本部の連携による情報の一元化や効率的な対応が可能となり、医師会等関係団体との連携では迅速な災害救急医療対応が可能となる。これらは受益者を特定するものでなく公平性が高いと考えている。</p> <p>受益者負担の視点には馴染まない。</p>
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	17.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）		
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 10 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--